

【ポーランド：クラコフ 日本語学校】

ポーランドの古都クラコフに日本語学校がある。様々な年齢層が集まって日本語を学ぶこの学校の学生に、日本語で授業を実施した。

- ・震災後に日本を励まそうと手紙を送ってくれた学校だということもあり、最後の読み聞かせの部分は、津波で祖父を亡くした小学生が書いた詩をスライドで画面に映しながら読んだ。
- ・自分の大切なものについて語り合うと共に、震災後の日本に思いを寄せ、「あなたたちは1人じゃない。」と励ます内容の感想が多く見られた。
- ・大切だと考えるものは、「家族」「愛」「平和」「家」「友達」などが多く挙げられた。
- ・授業後、「いろいろな感情がわき上がってきてとても考えさせられた。」「大切なものを話し合うことで、相手とより深く知り合うことができて嬉しかった。」等、たくさんの感謝の言葉をかけられた。

* 生徒の感想（抜粋） * …原文のまま記載

私の大切なものは家族です。いつも私を応援してくれます。
授業、とても楽しかった。ポエムを読んだとき、心が動いた…。ありがとう！ポーランドから応援しています。がんばってね。 ○



Sometimes words are not enough...but those words can reflect the feelings of the person who wants to pass them.

Thank you for sharing your feelings to us.

M

I don't know what I want to say because now、 too many feelings inside me. I'm sorry...But I know one thing you are not alone!

D

